

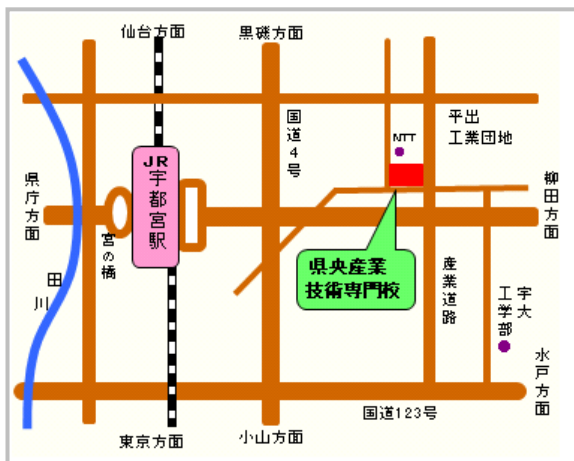
介護職員実務者研修科

県立県央産業技術専門校では、再就職を促進するために、ハローワークに求職登録をされている方を対象に、職業訓練を実施いたします。



1. **受講対象者** 公共職業安定所長の受講指示、受講推薦、支援指示が受けられる方。
2. **定員** 20名（一般離転職者）
3. **訓練期間** 6か月 平成30年4月4日(水)から平成30年9月28日(金)
 訓練時間 午前9時30分から午後4時40分まで 8時間
 *6時限等の場合もあります。
 休日 土・日・祝日及び校長が定める日とする。実習中はこの限りではありません。
4. **訓練実施場所** 社会福祉法人 蓬愛会 栃木介護福祉士専門学校
 宇都宮市宝木町2丁目988-5（駐車場はあります。）
5. **訓練内容** 別紙、訓練カリキュラムをご覧ください。
6. **受講料他** 受講料は無料です。但し講習用テキスト代(約14,000円)が必要です。健康診断料約5,000円程度、訓練生総合保険料(4,800円+振込手数料)が必要です。消耗品・資格取得に係る費用は受講者の負担となります。
7. **募集期間** 平成30年2月5日(月)～3月2日(金)
8. **選考日時** 平成30年3月8日(木) 選考は午前10時からです。
 受付は午前9時30分から午前9時50分までです。
9. **選考会場** 県立産業技術専門校（本館3階 視聴覚教室）
 宇都宮市平出工業団地 48-4(車の方は本校グラウンドに駐車してください。)
10. **選考方法** 提出書類・適性試験(30分、50問)及び面接試験の結果により、総合的に選考します。
11. **その他**

- ①指定の入校願書及び履歴書にご記入の上、住所を管轄する公共職業安定所に申込をしてください。
- ②選考には、筆記用具等、雇用保険受給資格者証(雇用保険受給者)を持参してください。辞退する場合は電話連絡をしてください。
- ③応募者が少ない場合は、訓練を中止する場合があります。予め御了承願います。



(選考会場) 県立産業技術専門校
 TEL: 028-689-6380



(訓練実施場所) 栃木介護福祉士専門学校
 TEL: 028-652-5070

訓練カリキュラム

訓練科名	(県央校) 介護職員実務者研修科 (4月コース)	就職先の職務	介護職
訓練期間	平成30年4月～平成30年9月 (6カ月)		
訓練目標	介護職員としてより高いサービスを提供するために必要な介護過程の展開や、認知症、医学知識、社会保障制度や医療的ケアなど、実践的な知識と技術の習得を目標とする。		
訓練の内容	科目	科目の内容	訓練時間
	オリエンテーション	オリエンテーション	12
	就職支援	履歴書の書き方、就職活動の進め方と求人情報の見方、面接指導等	24
	人間の尊厳と自立	人間の多面的な理解と支援、自立・自律の支援、人権と尊厳	8
	社会の理解Ⅰ	介護保険制度創設の背景と目的、介護保険制度の基礎的理解、介護保険制度における専門職の役割	8
	社会の理解Ⅱ	生活と福祉、社会福祉制度、障害者自立支援制度、介護実践にかかわる諸制度	30
	介護の基本Ⅰ	介護福祉士制度、尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理	10
	介護の基本Ⅱ	介護を必要とする人の介護実践、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全	20
	コミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション、介護におけるコミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	30
	介護過程Ⅰ	介護過程の意義と目的、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ	20
	介護過程Ⅱ	介護職による介護過程の進め方、介護過程の実践的展開、施設で暮らす高齢者の介護過程、在宅で暮らす高齢者の介護過程	26
	発達と老化の理解Ⅰ	老化に伴うこころとからだの変化と日常生活への影響	12
	発達と老化の理解Ⅱ	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多くみられる症状・疾病等	20
	認知症の理解Ⅰ	認知症の基礎的理解	12
	認知症の理解Ⅱ	認知症の医学的理解と支援の実際	20
	障害の理解Ⅰ	障害の基礎的理解	12
	障害の理解Ⅱ	障害の医学的理解と支援	20
こころとからだのしくみⅠ	移動・移乗に関連するからだのしくみ、食事に関連するからだのしくみ、入浴・清潔に関連するからだのしくみ、排泄に関連するからだのしくみ、着脱・整容・口腔清潔に関連するからだのしくみ、睡眠に関連するからだのしくみ	20	

		科 目	科 目 の 内 容	訓練時間
訓練の内容	学 科	こころとからだのしくみⅡ	人間の心理、人体の構造と機能、移動・移乗における観察のポイント、食事における観察のポイント、入浴・清潔における観察のポイント、排泄における観察のポイント、着脱・整容・口腔清潔における観察のポイント、睡眠における観察のポイント、終末期における観察のポイント	60
		介護総合演習	実習に関する事前・事後指導	30
		医療的ケア	医療的ケア、安全な療養生活、清潔保持と感染予防、健康状態の把握、喀痰吸引、経管栄養	52
		健康と生きがい支援	人間としてよりよく生きること	30
		デス・エデュケーション	人間の「死」を考えることで「生きる」を考える	30
	実 技	生活支援技術Ⅰ	生活支援とICF、居住環境の整備と福祉用具の活用、移動・移乗の介護技術の基本、食事の介護技術の基本、入浴・清潔保持の介護技術の基本、排泄の介護技術の基本、着脱・整容・口腔清潔の介護技術の基本、家事援助の介護技術の基本	20
		生活支援技術Ⅱ	移動・移乗の介護、食事の介護、入浴・清潔保持の介護、排泄の介護、着脱・整容・口腔清潔の介護、睡眠の介護、終末期の介護	30
		介護過程Ⅲ	介護過程の展開の実際、介護技術の評価	48
		医療的ケア演習	喀痰吸引のケア実施の手引き、経管栄養のケア実施の手引き、救急蘇生法の手引き	36
		介護実習	授業で学んだ知識・技術を展開する	30
訓練時間総合計 670 時間（学科 506 時間、実技 164 時間）				
主要な機器設備		ベッド、寝具一式、体温計、血圧計、ストップウォッチ、喀痰吸引器具一式、経管栄養器具一式、モデル人形、救急蘇生器具一式、歩行補助用具各種、ポータブルトイレ、便尿器、口腔ケア用具一式、車いす、移動・移乗用具、パルスオキシメーター、調理・食事用具一式、高齢者疑似体験用スーツ、ストレッチャー、介護機器 他		